

1.応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

本校は理工系進学希望者が多く、建築や都市計画などへの興味から、住分野への関心が高い生徒が多くおります。また学校全体の方針として、発表や表現に力を入れています。家庭科では、長らく住分野に力を入れ、作業・討論・発表という実習を教材化してきました。生徒作品を学園祭等で展示して外部の方にも評価を受けていますが、さらに多くの方に実践をお知りいただき、ご指導いただける機会が増えることを願って応募いたします。

2.学習予定の概要を記入してください。

1、中心となる活動

「敷地形状から、三角形の住宅しか建てられない」という条件のもとで、建物内部の間取りをグループで検討・発表する

2、この授業のねらいと特徴

- ①なじみがない三角形の平面を想定することで、個人的経験や思い込みから離れて、平面構成の原理に注目する
- ②グループ作業をとおして、住要求の多様性を認識し、議論によって矛盾の解決を図る経験を得る

3、学習のながれ

- ①導入（2時間）＝与えられた間取りに家具類を配置する作業をとおして、平面図や記号の読み取りに慣れるとともに、家具・建具のサイズ感覚を養う。また、部屋の機能や動線・ゾーニングなどについて理解を深める。
- ②住居をめぐる家族の葛藤（2時間）＝映画「みんなのいえ」を鑑賞し、住み手・作り手の様々な気持ちが交錯する住まいづくりの場面に身をおいてみる。登場人物のセリフを分析し、価値観やライフサイクルに応じた様々な住要求があることを感じ、矛盾を克服するために議論が必要なことを理解する。
- ③三角形の住宅の平面計画（2時間）＝三角形平面と家族構成の条件を与え、まず個人で間取りを考える。必要な部屋数、ゾーニング・動線などの課題をクリアする。第1案ができたらグループをつくり、互いの作品を比較し、最終案を1つに絞る。この過程で、自分の住要求を言葉にし、また他人の言葉を聞いて住まいの形状をイメージするといった、コミュニケーションを経験する。
- ④発表（4時間）＝グループごとに作品発表用の原稿を作成する。同時に図面を修正・清書する。図面はCADを使うことで、建築に関する知識がなくても、実現可能な間取りが考えられる。各グループで、CAD図面を投影しながら、作品の意図や工夫した点などを発表する。このとき建築士等の専門家によるアドバイスコメントが得られないか、検討中である。
- ⑤まとめと補足（2時間）＝生徒作品の平面図を3D化し、発表の言葉と、平面計画のイメージが一致するか検証する。住居の安全・健康、景観・環境などについて、生徒のリポートをもとに解説を加える。

3.今までに住まいやまちに関する学習を行ったことがありますか。

○1 ある                      2 ない

1の方は学習の内容について、ガイドラインの該当する領域に○をつけてください（複数可）

- 1 人と住まい
- 2 住まいの空間と構成
- 3 住まいと社会
- 4 住まいと環境

その他特記事項がありましたらお書きください